

公學校

合計

一〇〇 四四 九四六 三〇

●文部省留學生 今回の派遣留學生は凡そ三十

名ほどにして本月中旬までには發表せらるべしとのことなり。

●慈善旅行 慈善旅行といふこと一度時事新報

によりて卒先せられしより、頗世の慈善家の注

目を引くに至りて各所に舉行せらるゝに至れるは

喜ぶべし。先月二日には福田會育兒院の野州鹽原

に該旅行を催せるあり、先々月には神戸婦人會の

全市全体より百名の兒童を擇びて舞子に向ひたる

あり、日本鐵道會社は前者のために瀛車貨を三割

引とし、山陽鐵道は特に後者のために貨錢を寄附

したりとのことなり。

●高等教育會議議員 高等女學校校長の互撰にか

ゝる前議員河原一郎氏滿期に付改撰先月九日開票

の結果左の二氏當撰したり。

東京府第一高等女學校長

二十四票

伊藤貞勝

京都府高等女學校長

二十一票

河原一郎

海外彙報

獨逸皇太后陛下の崩御

獨逸皇太后フリードリッヒ

陛下には先月五日崩御あらせられたり。右に付き

我天皇陛下には親しく御弔電を發せさせ給ひぬ。

抑々全皇太后陛下は、故英國女皇ウキクトリア陛下

下の皇長女にあらせられ、千八百五十八年十八歳

にて當時未皇子たりしフリードリッヒ第三世と御

結婚遊ばされしが、全帝は即位後間もなく御崩御

遊ばされしたため 皇后には御齒四十八才にして寡

婦たるの不幸に遭遇せられ給ひ爾後十三年本年六

十一歳を以て遂に御崩去遊ばされしなり。同國皇室の御歎きは申すまでもなく國民一般の悲痛左こそと察せらるゝなり。

●酒癖に對する心理研究 獨逸のパートリツジ

は酒精の心理と題し酒癖に關する心理的研究の結果を掲げたるが其内飲酒せんとする情念の起るを下の如く分類せり。

- 第一 罪惡苦痛を脱せんか爲め、第二 生存競争より生ずる苦痛及び神經衰弱を脱せんとするもの、第三 細胞體の酒精中毒より生ずる空服を癒さんとするもの、第四 動物的情欲、第五 習慣の爲めに嗜好するもの、第六 放恣より生ずる第二の天性、第七 精神上に變更を與へんとする觀念、第八 コンモンセンスを個人的意思に變ぜしめんとする希望、第九 精神的進化より生じたる

副産的天性。

●胡索兵の子守歌

胡索克兵の勇敢なる馬蹄の

(婦人衛生會雜誌)

到る處天下風靡せざるなき勢ひなるが彼等が常に兒童を教育するにも力めて勇武の氣風を養成する爲め其子守歌に至る迄何れも尙武の氣風を以て充され居る由にて近刊の雜誌黑龍は左の子守歌を紹介せり

第一句 眠れよ眠れ能く眠れ、今こそ眠れ汝の父

の武勇に敵する敵はなし四境靜かに事もなし眠

れよ眠れ能く眠れ、

第二句 眠れよ眠れ能く眠れ、神は汝が爲め武勇

なる父を與へて安らかに汝が成長を守ります眠

れよ眠れ能く眠れ、

第三句 眠れよ眠れ能く眠れ、汝が育ひ立ちて初

陣に出で立つ時のかざしには母が送らん其花を

眠れよ眠れ能く眠れ、

第四句 眠れよ眠れ能く眠れ、汝が戰場に打ち向

ひ敵と戦ふ其時は花々しくも戦ひてあの父の子

と呼ばれてよ眠れよ眠れ能く眠れ、

第五句 眠れよ眠れ能く眠れ、若しも軍の拙なく

て今を限りとなりもせば子故に迷ふ親心思ひ出

でてよ然かあれど死に勝る名を忘れずに眠れよ

眠れ能く眠れ

●天才は長子に多し といふ標題にて、近刊の

萬朝報に外字新聞より左の一項を譯載せり。本

紙前號所載の秋山國手の談話と相對照せられなほ

面白かるべし。

露國の學藝雜誌に掲ぐるアクセソフヘルド教授

の報告に據れば世に天才英智の人と呼ばれたる

もの、中、五分の三は長子にして他は二子三子

末子多く、兄弟の中位を占むるものは殆んど皆

無なりと云ふ、而して長子にして名聲を天下に

博したる人々はシヨツベンハウエル、ルーテル、

ダンテ、ラファエル、レオナルドヴァインチ、チ

ヤーレス大帝、アレキサンダー大帝、孔子、デ

ーテ、ラブリエール、マホメット、ダラムベル、

バックル、ベスタロツチ、ロツチニ、ミルト

ン、バイロン等なり又ミケエルアンゼロ、サヴ

オナローラ、プラトリー、シエークスピア、タ

ツソー、マチニ等は二子或は三子にしてフラン

クリン、ヴォルテア、ロイオラ等は末子なる由

なり。右に就きて教授は曰くこは生理的原因を

以て説明し得べきことなれども、今之を説明せ

ず只此現象は偶然のものに非ずして、自ら法

則あることを忘るべからず。